

■平成十八年度老人保健特別会計補正予算(第一号)

十七年度決算における歳入不足の補てんのため八〇八万円を増額補正するもの

問 西森常晴議員
なぜ、五月三十一日付で専決が必要か。

答 町民課長

十七年度に交付されるべき国、県の交付金が十八年度に過年度として入ってくるので、出納閉鎖の五月三十一日までに、繰上充用金とするため。

問 岡田良成議員

ある程度予算を組み、専決処分にする前に議会で承認できないか。

答 町民課長

当初から黒字になる予算は組めない。

(可決 多数)

■池川町国民健康保険条例等の一部を改正する条例

旧三町村の介護納付金分の課税限度額と公的年金控除の減額による十八年度分の激変緩和措置。

(可決 全員)

■条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により、町民税六％、県民税四％の単一税率に改正するもの

(可決 全員)

■福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

障害者自立支援法の制定により、四月一日から福祉医療費の助成対象者に重度身体障害者または、その保護者が加えられる。また、身体障害者福祉法並びに、知的障害者福祉法が障害者自立支援法に改められた。

(可決 全員)

議 案

■農産物価格安定事業に関する条例を廃止する条例

旧仁淀村でシシトウ、トマト、タラの芽を価格安定事業として行っていたが、十七年度で廃止するもの

問 西森(常)議員

基幹産業のお茶を復活するべきでないか。



大野仁淀地域振興課長

答 仁淀地域振興課長

新たに始めるのなら新町で立ち上げをという話で終わっている。

答 町長

すべての農産物価格について、原因の究明は難しい。専門家の分析が必要。

問 西森(常)議員
合併を期にぜひ立ち上げを。

条例を制定すべきでは。また、仁淀の実績を踏まえて答弁を。

答 総務課長
新しい条例をつくる考えは今のところない。

答 町長
極力努力していくが、

答 仁淀地域振興課長
トマト、十三万三千円

賛成討論 大原議員
農産物の将来にわたる



お茶の価格は右肩下がり。

唯一の町の基幹産業に陰りがみえてきた今、手立てはないのか。(坂本)

国のレベルでの対応が必要と考える。

で三戸。タラの芽が三戸で八万一千九百三十三円。シシトウが二戸で十一万七千円。の価格補償。

安定について検討を願う。

(可決 全員)

問 大原儀郎議員
今の時代に対応できる

■国民健康保険税条例

仁淀川町として税率を統一、納期は現行通り

(可決 全員)

■国民健康保険税条例の経過措置に関する条例

旧町村の国民健康保険税条例から、新たな仁淀川町国民健康保険税条例へ移行するための経過措置を設けるもの

(可決 全員)

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児・介護を行う職員の早出・遅出勤務について改正するもの

(可決 全員)

■国民健康保険大崎診療所に勤務する医師の給与等に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の改正に伴い、地域手当の支給率を百分の十から百分の十一に改正するもの

(可決 全員)

■平成十八年度一般会計補正予算(第一号)

主なもの

歳入

国庫支出金三〇九万減額、県支出金六五〇万の増額。農道中ノ瀬線に一五三〇万円。マッシュルーム生産施設整備に九一〇万円の増。林道下土居松谷線災害復旧工事に八四六四万円の増。本庁舎防水工事にまちづくり基金を五〇三万円。農道秋葉線、農道大見槍下モウ子線に仁淀振興基金を二五〇万円繰り入れ。不足を補うため、財政調整基金を五九〇万円繰り入れ。

歳出

仁淀の四集落へ生活用水確保対策事業で八三〇万円。本庁舎防水工事などへ六七四万円。児童手当の制度改正により八四八万円の増。農道藤ノ野桜線に町負担金四二〇万円。基幹集落センター屋根防水処理費に一〇〇万円、県営工事負担金など

一二四二万円。

既決予算に、一億九一〇四万二千円をそれぞれ追加し、七二億一六〇八万円とするもの。

問 福原議員

農業費補助金と林業費補助金は内示があつて予算化したのか。

答 仁淀地域振興課長

六月六日に県の出先からあつた。

問 福原議員

農道中ノ瀬線は補助事業が付かなくても、町単独でもやるのか。



岡崎仁淀総合支所長

答 仁淀総合支所長

補助事業で対応と考えていたので付かなければ取り下げる。

問 福原議員

予算書は地域住民も見ると。地域振興基金を使っ

てでも実施するか。

答 町長

予算計上するものは、内示があつて予算化して

内訳と内容を。

答 産業建設課長

県二分の一、町四分の一の補助で、マッシュル

問 岡田議員

事業計画と相手方は。

答 産業建設課長



1,365万円の補助金(県1/2・町1/4)を受け、事業を開始した仁淀マッシュルーム生産組合。雇用の場づくりとして期待は大きい(旧長瀬小跡)

いる。

問 岡田議員

地域林業総合支援事業補助金、一三六五万円の

ーム生産組合四分の一を負担する。

旧長瀬小学校跡に、栽培棟二棟、空調設備などを建設する事業。

伊野林業事務所と町の担当者が生産から販売までの計画を立てた。相手方は、仁淀マッシュルーム生産組合。

問 西森(常)議員
環境保全型有機農法に
対する補助は。

答 助役
県単で五七万円計上し
ているが、今後も検討し
ていく。

問 若藤敏久議員
農道中ノ瀬線の補助分
以外の財源は。

答 総務課長
一般財源を充ててい
る。

問 若藤議員
仁淀振興基金二五〇万
円の使い道は。

答 総務課長
農道秋葉線待避所整備
工事に一五〇万円。農道
大見槍下モウ子線舗装工
事に一〇〇万円。

問 大原議員
農道中ノ瀬線に有利な
過疎債を使えないか。



片岡企画課長

答 企画課長

過疎計画に載っており
借り入れ対象であるが、
一〇〇m以上の施工や幅
員に条件が厳しく、二・
五mの農道には要件が合
致しづらい。今後は、有
利な財源を求めていくよ
う検討していく。

■平成十八年度国民健
康保険特別会計直診大
崎診療所勘定補正予算
(第一号)

歳入歳出それぞれ二一
九万三千円を追加し、合
計二億五三二〇万八千円
とするもの

(可決 全員)

■平成十八年度介護保
険特別会計補正予算
(第一号)

主に制度改正による予
算科目の組み替えて、歳

入歳出それぞれ一九万
九千円を追加し、合計一
〇億九千九百八千円と
するもの

(可決 全員)

■こうち人づくり広域
連合規約の一部改正

十八年三月二十日四万
十町と黒潮町の新設合併
に伴い組合を組織する数
に変更が生じたことによ
るもの

(可決 全員)

■高知県市町村総合事
務組合規約の一部改正

十八年一月一日から同
三月二十日までに新設合
併により、中土佐町、香
南市、香美市、四万十町
及び黒潮町の発足に伴
い、組合を組織する数に
変更が生じたことによる
もの

(可決 全員)

■高知県広域食肉セン
ター事務組合規約の一
部改正

十八年三月一日、同三
月二十日の香南市、香美

市、四万十町の新設合併
に伴い、組合を組織する
数に変更が生じたことによ
るもの

(可決 全員)



耐震改修工事 (名野川小)

■平成十七年度(繰越)
名野川小学校校舎耐震
改修工事請負契約の締
結

契約の方法 指名競争入

札
契約金額 五三〇二万五
千円
契約の相手方 (株)上岡西
山工務店

名野川小学校は、昭和
四十七年に改築された三階
建ての校舎であるが、建
築基準法の改正後、耐震
基準が満たされていない
ため今回の発注となった
もの。主な工法は、補強
ブレース、柱炭素繊維、
脇補強工事。入札は、十
八年五月二十四日、町内八
業者で行われた。

(継続審査)

■平成十七年度(繰越)
林道災害復旧工事、林
道泉大植線(台風十四
号九・四・九・七)・
一号箇所(十七年発生)
災害復旧工事請負契約
の締結

契約の方法 指名競争入
札

契約金額 一億二六〇〇
万円
契約の相手方 (株)西森建
設

十七年九月四日から七

日にかけての台風十四号
による集中豪雨により、
林道泉大植線の山側斜面
が一〇〇mに渡り崩壊し
たもので、入札は平成十
八年五月二十四日、町内八
業者で行われた。

(継続審査)

名野川小学校校舎耐震
補強工事請負契約の締
結、林道泉大植線災害復
旧工事請負契約の締結の
両議案に対し、若藤議員
より継続審査に付すべ
き、との動議が提出され、
審議の結果、総務教育民
生常任委員会に付託し、
閉会中の継続審査となっ
た。

■人権擁護委員候補者
の推薦

十八年九月三十日に任
期満了となる委員の後任
について推薦するために
意見を求めるもの

住所 仁淀川町大植二八
五八番地

氏名 坂本 直子
生年月日 昭和十四年十
一月三十日生

(適任 全員)

どうなる

仁淀高校

県の報告では、21年募集停止、23年佐川高に統合するというが？（仁淀高校）

問 若藤議員

教育委員会行政報告のなかで、仁淀高校は、二十一年募集停止、二十三年佐川高校に統合すると県議会総務委員会第二次計画案を述べた。五月の大崎県教育長の説明会の時、三十人程度の生徒を確保すれば存続できないか、との質問に県教育長は、「知事に頭を下げてでもお願いしてみる」との答弁だったが、その後進展はあったか。

答 教育長

県教育長に、二五ないし三十人確保できれば存続できるか、と聞くと基本は四十人と非常にいいまいな答えだった。分校も認めないし、二五人、三十人とかの規模で進めば、募集停止の時期を延ばすことを検討する余地があるかも、という答えしかもらえなかった。振興対策協議会の会長と相談しながら早急に取り組む。

問 西森（常）議員

統廃合は、子どもの数をみれば分かる。以前も

提言したが、全国から生徒の集まる魅力ある高校、漫画学科の設置しかない。

答 町長

私も以前、漫画甲子園の審査員をしたが、県下の各高校には、漫画クラブはある。町外からの生徒確保も難しく、町内の中学生の数を見ても、県のいう人数を確保するのは難しいと考える。九月に計画書が出されるまで、関係者と対応していく。

問 若藤議員

議会としてだけでなく個人としても存続に向け努力したい。大事なのは池川、吾川、仁淀の中学生に、仁淀高校の素晴らしさを伝えることだ。他の高校の就職率は、六〇％台だが、仁淀高は、一〇〇％であるとか、PRも必要ではないか。

答 教育長

九月に計画書が出される。確定するまで中身をどう変えてもらうか全力で取り組む。

問 大原議員

池川には、全国から通う自然学園がある。卒業して仁淀高校へ。そして、木材振興も兼ね、父母も仁淀川町へ移り住むことも考え、真剣に取り組むべきでは。

答 教育長

過去、自然学園から仁淀高校へ進学したのは一人で、卒業すると地元の高校へ帰っていく。町としては、保育、幼稚、小学校、中学校、高校の一貫した教育システムの必要があると考える。

答 町長

県教育長が来町した時「毎年一一〇〇万円の財源を費やしても、自然学園の卒業生は、すべて親元の県外へ帰る。本来なら県、国の事業では」と聞くと、「そう思う」とのこと。

池川の生徒の、仁淀高校への進学は非常に少ない。むしろ強制はできないが、仁淀高校へ入学することの協力を強く願う。

ここが聞きたい②

Q & A

— 第4回 臨時会 —

平成18年度第4回仁淀川町臨時議会は、18年6月19日開かれ継続審査となっていた名野川小学校校舎耐震改修工事請負契約の締結、林道災害復旧工事請負契約（泉大植線）を原案どおり可決し閉会した。

委員長報告

若藤敏久総務教育民生常任委員長

十八年六月仁淀川町議会定例会において、総務教育民生常任委員会に付託され、継続審査となった、議案第八〇号及び議案第八一号について、一括し審議結果を報告する。

議案第八〇号の耐震工事は、夏休み中の工事となり工期の問題があるため急を要し、六月十四日の午前十時から全委員が出席し委員会を開催。大原委員は午前中の審査、午後の聞き取り調査には出席したが、その後は所用のため欠席。結果は配付報告書のとおり原案可決と決定したので、調査の経過と委員会で議論のあった概略を報告する。

審査過程において、入札担当者の下方総務課長に出席を求め、入札時の状況など聞き取り調査を行う。まず町長が予定価格を記載、その書類を密封捺印し金庫に保管して入札当日持参する。全業者が入札の終了したことを

を確認し開封、予定価格から最低限度額の範囲で入札額の低い業者を落札者と決定する。

業者からの聞き取り調査については、議案第八〇号の名野川小学校耐震改修工事は、工事金額の七割から八割が専門業者への発注となるため、公表されている設計金額を大幅に下回っては赤字という業者がほとんどで、五%強を減額した業者が落札した。

議案第八一号の林道泉大植線災害復旧工事は、請負対象額が一億円以上となるため県に準じて見積額計算書を提出したが落札せず最低入札額の発表後二回目に落札。落札業者の積算書を確認すると一回目の入札額は同額であり、会社の決定額は二回目の入札額と同じ額だった。

議案第八〇号、八一号双方とも落札できなかった業者は落札の希望はあったようだが、工事場所の関係及び予定工事量等も考慮した入札額であったと思われる。これらの状況から業者間で話し合

いがあった事実は確認できず、また予定価格が事前に漏えいすることも考えられず、予定価格の百分での落札もあり得るという結論に達し出席者全員原案可決となる。

以上、総務教育民生常任委員会の審査概略を報告し審査結果報告とする。

問 西森常晴議員

一番危ぐされた予定価格が事前に漏れてなかったというが、どのような根拠で解ったのか。

答 若藤委員長

予定価格を記載した書類は密封捺印のうえ金庫に保管され、入札当日業者の前で開封され町長以外の者は漏らすことは不可能。町長にこの確認はしていないが、確認する権限としたものは委員会に付託されてなく権限もないことなので、すべての状況を考えた上で予定価格は事前に漏えいすることとは、なかったということになった。

答 若藤委員長

業者に聞き取り調査の段階で「あなたはこの工事の受注を希望しましたか」と伺うと全業者が「この価格で落札できると思ってた入札当日その金額を記載した」という報告を受けた。そしてその段階で話し合いうんぬんについて、私自身聞いた業者もあるが「話し合いがあった」と言った業者は一人もおらない。西森議員が言われたような談合うんぬんについて、今後、議会として調査をするならば、議会の最も強い権限である百条調査特別委員会をもってすれば、調査も可能ではないかと思っている。今回の調査に関しては談合という事実は確認できなかった。

教育委員会の報告

教育長 大野 敏光

新年度がスタートして二カ月が過ぎ、現在幼稚園一カ所で園児数二八八人、小学校五校で二八八人、中学校三校で一六九人、総勢四七九人が元気に通園・通学している。また小中学校の県費負担教職員は九三人。

〔教育研究所〕

四月一日付けで仁淀川町教育研究所が発足し業務を開始。所長には旧吾川村教育委員の堅田潤平氏を迎え、また研究委員には勤務経験がある二人の配置を認めていただき、直ちに研究活動の体制が取れた。町としての教育課題の再認識、その解決に向けての取り組みを早急に行い、教育改革を進めていきたい。それぞれの地域での優れた分野は吸収共有し、課題研究を進めていかなければならない。研究所がその機能を生かし、成果を上げていくよう取り組みたいと考えている。

〔仁淀高校〕

県教育委員会は四月十三日の県議会総務委員会

で、県立高校再編にかかる第二次計画案を示し、この中で、仁淀高校は平成二十一年度に入学の募集停止を行い、二十三年度には佐川高校に統合するという内容で、大崎教育長も五月に二度、仁淀川

町を訪れ、町長、仁淀高校振興対策協議会などで、県計画案を説明し、意見交換が行われた。県教育委員会としては、地域の意見を聞き、九月には計画を決定する考えである。



6月4日、仁淀地区一斉清掃を実施した。(長者バス停のトイレ掃除・仁淀中)

意見書

集配局廃止計画に反対する意見書

提出者 若藤 敏久

日本郵政公社四国支社は、平成十九年十月一日からの郵政公社の民営化を前に、池川郵便局、仁淀郵便局、長者郵便局で行っている郵便物の配達・集荷、郵便貯金と簡易保険の募集・集金などの外務事務を平成十八年九月から三月下旬までに伊野郵便局へ集約し、配達・集金などは大崎郵便局から行う旨の提案をしています。

池川郵便局、仁淀郵便局、長者郵便局は、地域の中心的施設として、地域住民の日常生活に必要不可欠な生活基盤サービスの提供のほか、安心安全な村づくりに貢献するとともに、地域住民の交流の場としても活用され、高齢化社会を迎えて、郵便局の存在は益々重要となってきました。

採算のみを重視したこの計画が実施されると、郵便配達の遅れや時間外窓口の廃止などサービス低下を招くことは明らかで、さらに郵便局員やその家族の転出により、地域経済に与える打撃は極めて大きく、地域の過疎化は勿論、地域破壊につながる恐れがあります。このような地域の実情を無視した唐突な集配局廃止計画は、非合理的であり、真の行政改革に逆行するものであり、また小泉首相が「万が一にも国民の利便に支障が生じないようにしていきたい」と述べた国会答弁にも反する計画であり、とうてい認めるわけにはいきません。

仁淀川町議会は、この度の集配局廃止計画に断固反対するものです。よって白紙撤回を要求するとともに、池川郵便局、仁淀郵便局、長者郵便局の外務事務は現状を維持することを求めるものです。

意見書提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣
郵政民営化担当大臣 厚生労働大臣

産業建設常任委員会 (岡田良成委員長)

旧3町村 町内視察！

二月以降三回の産業建設常任委員会を開催した。

第一回の会は二月二十四日九時開会。委員長あいさつ、産業建設課長の行程、現場の概要説明の後、十六カ所の土木建設現場を仁淀地区、吾川地区、池川地区の順で調査をした。総括として西浦地区の防災工事の早期着工の要望と、作業現場において空き缶、ゴミなどが多いので整理整とんの要望、三点目はある現場において工事発注からの着手が遅いということ、この点は地域の生活道の確保という意味からも、早期着工完成をお願いした。

第二回の会は四月十二日九時二十五分池川総合支所で、町長、議長、他委員全員、産業建設課長、池川支所長、地域振興課長、住民課長、議会事務局長の出席で開会。委員長あいさつ、町長あいさつの中で安居小跡を日程追加し調査をする。池川支所長の行程、資

料の内容について説明の後、質疑応答。委員長の自然学園についての質問で、「年間委託料千百万円、十二名の

ている。それが学園の存在意義」

町長、「不登校の施設は必要目的はよいと考えている。施設は委託費以

なくてはならない」全町的な問題である。

十時三十分、調査、研修出発。十六時三十五分



現地調査 (西浦)

入園者、町のプラスになっているのか」岡崎支所長、「成果は出ている。お金の問題だけでなく貢献し

外にも金がかかってくる。老朽化などの問題がこれから出てくるのでそのための対策もしてい

検討会、委員長、総括、本日は各施設等を調査した。所管事項ほかもあったが勉強ということで理

第三回の会は五月十七日十時三十分、議長、他委員全員及び仁淀支所長、産業建設課長、地域振興課長、議会事務局局長、課長補佐の出席で開会。委員長あいさつ、産業建設課長が行程資料内容の説明。仁淀支所長の観光センターについて説明の後、質疑、引地公園整備について、人工的なものでなく自然的な公園がよいのでは。観光は厳しい、お金をかけずに最小限の公園を建設しては。観光センター、支所長の運営状況説明。委員長、「少しでも経費節減を」スカイパーク、実質九カ月利用で利用者が若者から年金受給者に変わっている。明神ランド、利用者なし。しもなの郷、四十万円で管理委託。委員長、高瀬農地保全事業において、所長に地元建設業者を使ってほしいことを要望。以上で旧吾川、旧仁淀の各施設など調査。(野村)



和気あいあいをモットーに編集をしています。編集委員会（左から、野村、片岡、福原、農本、西森、尾崎、議長、西村）

日 記 帳

5月2日	議会だより特別委員会	29日	仁淀開発公社理事会
9日	高瀬地区地滑り対策事業推進協議会総会	31日	議会運営委員会
16日	高吾北地区地域安全協会総会（佐川町）	6月1日	道路整備促進期成同盟会県協議会通常総会
17日	産業建設常任委員会（吾川・仁淀地区）	5日	国道33号線整備促進期成同盟会
19日	仁淀川町青少年健全育成協議会設立総会	7・8日	第三回定例議会
23日	仁淀川町教育研究所開所式	11日	町消防団仁淀地区大会
		12日	防災パトロール（池川地区）
		14日	総務教育民生
		26日	立総会
		28日	防災パトロール（吾川地区）
		22日	町シルバー人材センター設立総会
		20日	町老人クラブ連合会総会
		19日	第四回臨時議会
		18日	町消防団池川地区大会
		15日	常任委員会茶霧湖まつり実行委員会

コラム



鮎シャクリとは、水鏡（水中メガネ）で水中の動きながら鮎を探し、長さ一・八メートルのさおに、糸・三

本イカリ針・オモリをつけたものを投げ込み鮎の行動のタイミングに合わせて竿をコントロールして引っ掛ける

親子三代受け継がれた鮎シャクリ漁

伝統ある漁法です。私がシャクリ漁を始めたのは、約二十年前で親父や祖父が川へ鮎漁に行くのについて行つては、水中の動きをシャクリ漁をしていました。しかし当時はさ

おやオモリの操作がうまくいかずに一匹も取る事ができず悔しかった事を思い出します。二十年たった今では、その少年時代の経験があるからこそ鮎シャクリ漁を楽しむ事ができ

ています。この漁法はテクニクも必要ですが、やはりシャクリ漁を楽しむ事が一番大切だと思っています。これからはあの鮎が掛かった時の『グリグリッ』とした感触の鮎シャクリ

漁を、同じ鮎釣り仲間と共に子どもたちにも伝えていき、仁淀川の夏を楽しみたいと思っています。

谷脇 崇（理容師）

編 集 後 記

近年、仁淀川茶がおいしいとしみじみ感じるようになった。身近なところから地産地消。（西村）

合併してもうすぐ一年。いろんな所で「仁淀川町です」とすんなり言えるようになった。（尾崎）

ないものねだりではなく、あるもの探しを地域担当職員と、地域でできることは地域で。（福原）

議会活動の開始からはや半年。冷汗、労働の汗、湿気による汗、汗汗、汗の毎日です。（野村）

日照不足、各地の水害、異常気象と暗いニュース。どうなっているのか、自然も人も。（片岡）

入梅とともに家々から漂うアユの香り。素晴らしい自然をいつまでも残していかなければ。（農本）
最近、森から土居へ、夜、勉強に行く機会が増えました。よく坊さんに間違えられます。（西森）